



子規・漱石生誕150年記念 第20回俳句甲子園全国大会 開成(東京)が連覇で10度目の栄冠



高校生にしか語れない俳句がある

県勢では松山西中等が 決勝リーグで健闘

高校生が俳句の作句力と鑑賞力を競う「子規・漱石生誕150年記念 第20回俳句甲子園 全国高等学校俳句選手権大会」が8月19・20日に市内で開催され、開成(東京)が決勝で幸田(愛知)を破り連覇を達成、10度目の優勝を果たしました。県勢では松山西中等が決勝リーグに進み、「子規・漱石生誕150年記念賞」に輝きました。



「子規・漱石生誕150年記念賞」に輝いた松山西中等

とあって、会場から大きな声援を浴びていました。優勝した開成の山下さんは「このメンバーは全員3年生で、今年が俳句甲子園の集大成という気持ちで臨んだ。俳句を愛する仲間たちと、こうして俳句について熱く語り合うことができ、俳句を愛する全ての人に感謝したい」と振り返りました。

また文部科学大臣賞となる個人最優秀賞には開成・岩田奎さんの「旅いつも雲に抜かれて大花野」が選ばれました。

開成文化・ことは課 ☎948 6952・FAX 934 1287

最優秀賞・優秀賞受賞句

優 秀 賞											最優秀賞	受賞種別
神野 紗希選	高柳 克弘選	阪西 敦子選	関 悦史選	岸本 尚毅選	夏井いつき選	小澤 實選	対馬 康子選	星野 高士選	中原 道夫選	西村 和子選		
心中は途中でやめにして銀漢	敗北の砂混じりたる髪洗ふ	百合咲いて百合を忘れぬ水となる	都市化したシュガーローフの大西日	蟻の全軀つぶし鎌見えず	月天心倉庫はあかあかと飢えて	髪洗うサハラの日二日の水	西日映し湖となるピアノの蓋	海底の絵に音のなき子規忌かな	路上ライブ近くに百合の献花	髪洗う姉のお下がりが脱ぎ捨てて	ランナーの万の心臓雲の峰	桃冷すたゆたゆと自転している
三根 詩生(愛光・愛媛)	青木 暢也(海城・東京)	三瀬 未悠(松山東・愛媛)	本村 拓(那覇西・沖縄)	野間江梨花(伯方・愛媛)	篠井 悠(開成・東京)	白井 駿助(会津・福島)	中井 望賀(愛光・愛媛)	佐藤 一守(洛南・京都)	柳澤 悠佑(洛南・京都)	松本 梓紗(桐蔭和歌山)	板倉 健(開成・東京)	金谷 佑策(徳山A・山口)
											岩田 奎(開成・東京)	氏名(敬称略)・学校名



優勝の瞬間、歓喜の表情を見せる開成



大街道で行われた予選(8月19日)



個人最優秀賞受賞の岩田奎さん